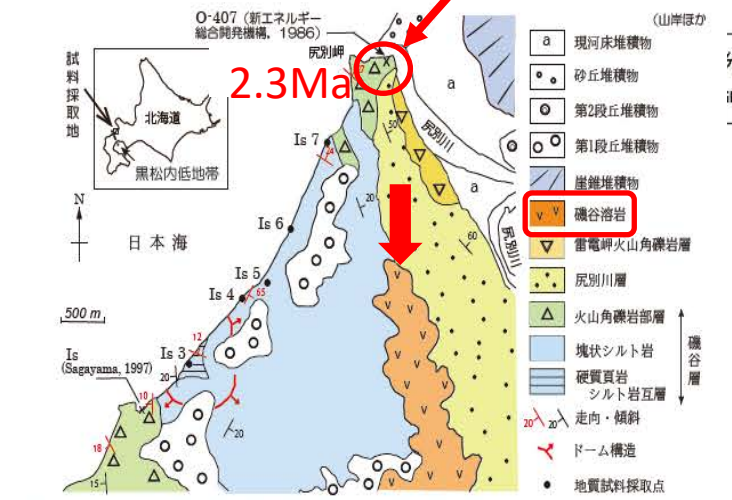
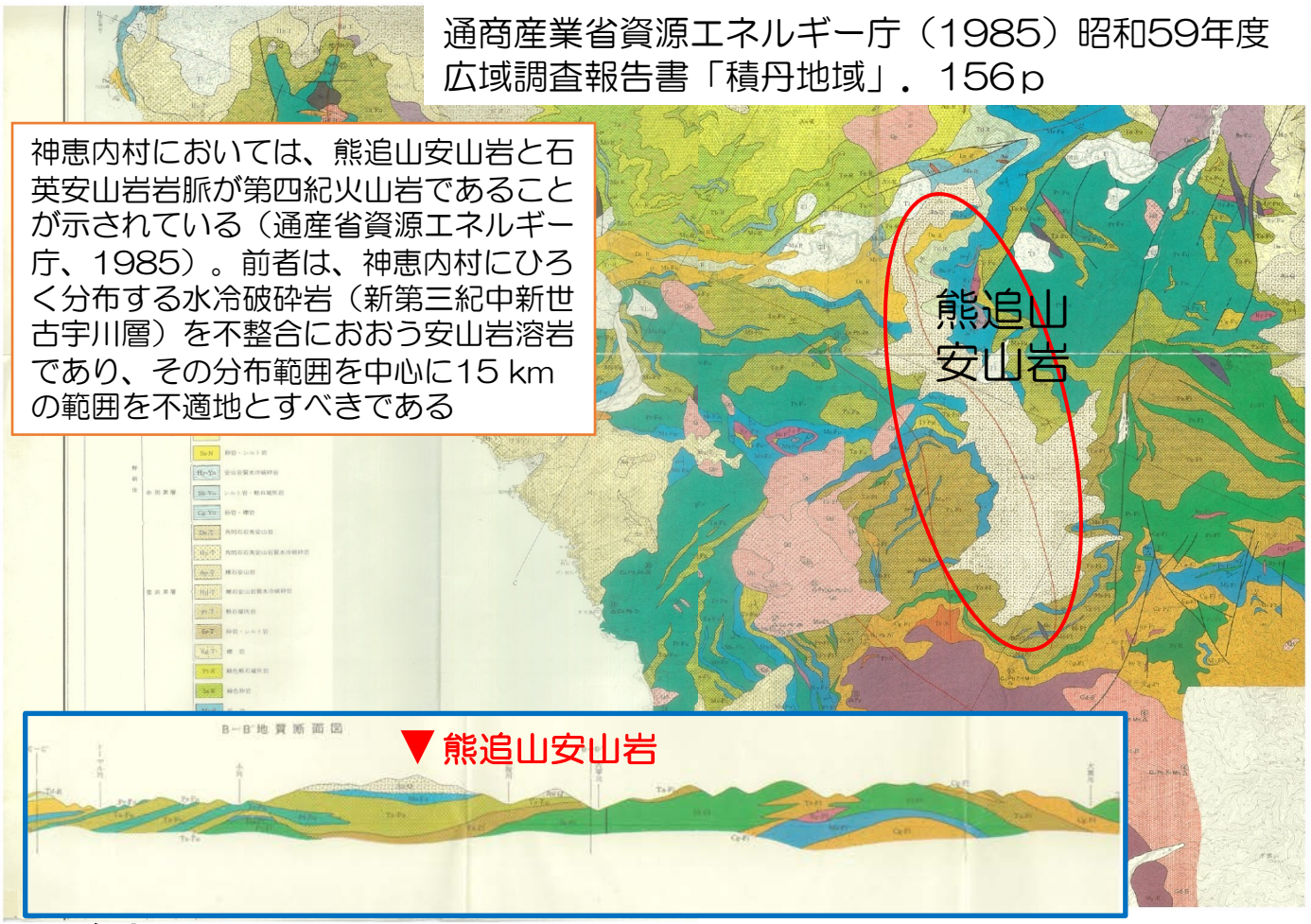


第1図　試料採取を行った磯谷海岸付近の地質図．山岸ほか（1976）を基に作成．

磯谷溶岩下位の磯谷層中の岩脈は230万年前の年代報告があり、更新世火山とされる。
（菅原・嵯峨山，2022，総合地質、Vol.6）
→磯谷溶岩を第四紀火山と認定し、その分布範囲を中心とした１５ｋｍ圏内を不適地とすべき。

通商産業省資源エネルギー庁（1985）昭和59年度広域調査報告書「積丹地域」．156ｐ

神恵内村においては、熊追山安山岩と石英安山岩岩脈が第四紀火山岩であることが示されている（通産省資源エネルギー庁、1985）。前者は、神恵内村にひろく分布する水冷破砕岩（新第三紀中新世古宇川層）を不整合におおう安山岩溶岩であり、その分布範囲を中心に15 kmの範囲を不適地とすべきである



資料7